

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公表番号】特表2018-514475(P2018-514475A)

【公表日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2018-021

【出願番号】特願2017-557464(P2017-557464)

【国際特許分類】

B 6 5 B 43/36 (2006.01)

B 6 5 B 43/12 (2006.01)

B 6 5 B 43/30 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 43/36 A

B 6 5 B 43/12

B 6 5 B 43/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パッケージを作製する方法であって、前記方法は、
 接続されたバッグのウェブをバッグの開口部が係合デバイスより下にある位置まで前進させることと、

前記係合デバイスを開放することと、

前記バッグの前記開口部に、部分的に開放された構成になるまで送風することと、

前記係合デバイスの一部が前記バッグの内側に配置され、前記係合デバイスの一部が前記バッグの外側に配置されるように、前記接続されたバッグのウェブを逆送りすることと、

前記係合デバイスが前記バッグに係合するように、前記係合デバイスを閉鎖することと、

前記係合デバイスを前記バッグの前記開口部が長方形形状を有することをもたらす位置まで移動させることと

を含む、方法。

【請求項 2】

製品を前記バッグの中に装填することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記係合デバイスを移動させることにより、前記バッグの前記開口部を閉鎖し、前記バッグを前記開口部のいたる所で緊張状態に維持することと、前記バッグの前記開口部をシールすることとをさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記係合デバイスが前記バッグに係合した後、前記接続されたバッグのウェブを逆送りし、前記バッグを前記バッグ内に装填された製品とともに前記接続されたバッグのウェブから除去することをさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記係合デバイスの移動は、前記バッグの前記開口部が少なくとも 6 インチ × 6 インチの長方形形状を有することをもたらす、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

パッケージを作製する方法であって、前記方法は、
接続されたバッグのウェブをバッグの開口部が複数の対のグリッパより下にある位置まで前進させることと、
前記対のグリッパの各々を開放することと、
前記バッグの前記開口部に、部分的に開放された構成になるまで送風することと、
前記対のグリッパの各々のうちの 1 つのグリッパが前記バッグの内側に配置されるように、前記接続されたバッグのウェブを逆送りすることと、
前記対のグリッパが前記バッグに係合するように、前記対のグリッパの各々を閉鎖することと、
前記対のグリッパのうちの少なくとも 1 つを前記バッグの前記開口部が長方形形状を有することをもたらす位置まで移動させることと
を含む、方法。

【請求項 7】

製品を前記バッグの中に装填することをさらに含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記対のグリッパのうちの少なくとも 1 つを移動させることにより、前記バッグの前記開口部を閉鎖し、前記バッグを前記開口部のいたる所で緊張状態に維持することと、前記バッグの前記開口部をシールすることとをさらに含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記対のグリッパが前記バッグに係合した後、前記接続されたバッグのウェブを逆送りし、前記バッグを前記バッグ内に装填された製品とともに前記接続されたバッグのウェブから除去することをさらに含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 つの対のグリッパの移動は、前記バッグの前記開口部が少なくとも 6 インチ × 6 インチの長方形形状を有することをもたらす、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 11】

前記複数の対のグリッパは、第 1 の対のグリッパと、第 2 の対のグリッパと、第 3 の対のグリッパと、第 4 の対のグリッパとを備えている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 1 の対のグリッパおよび前記第 2 の対のグリッパは、前記バッグの第 1 の層に係合する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 3 の対のグリッパは、前記バッグの第 1 の側縁に係合し、前記第 4 の対のグリッパは、前記バッグの第 2 の側縁に係合する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

パッケージを作製するための装置であって、前記装置は、
接続されたバッグのウェブを受け取るように構成されている送り出し機構と、
空気をバッグの開口部の中に吹きつけるように構成されている送風機と、
係合デバイスであって、前記係合デバイスは、
前記バッグの第 1 の層を把持するための第 1 の対のグリッパと、
前記バッグの前記第 1 の層を把持するための第 2 の対のグリッパであって、前記第 2 の対のグリッパは、前記第 1 の対のグリッパから間隔を置かれている、第 2 の対のグリッパと、
前記バッグの第 1 の側縁を把持するための第 3 の対のグリッパと、
前記バッグの第 2 の側縁を把持するための第 4 の対のグリッパであって、前記第 3 の対のグリッパおよび第 4 の対のグリッパは、互いに対して移動可能である、第 4 の対のグリッパと

を備え、前記対のグリッパの各々が前記バッグを把持しているとき、前記第3および第4の対のグリッパの相互に向かった移動は、前記バッグの前記第1および第2の側縁を相互に向かって移動させることにより、前記バッグの前記開口部を長方形開口部に形作る、係合デバイスと、

前記バッグの前記開口部をシールするように構成されているシール部材とを備えている、装置。

【請求項15】

前記第1の対のグリッパおよび前記第2の対のグリッパは、前記シール部材に取り付けられている、請求項14に記載の装置。

【請求項16】

前記第1の対のグリッパと前記第2の対のグリッパとの間の空間は、調節可能である、請求項14に記載の装置。

【請求項17】

前記第3の対のグリッパおよび前記第4の対のグリッパは、スロット内を移動可能である、請求項14に記載の装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

例示的パッケージを作製するための装置は、送り出し機構と、送風機と、係合デバイスと、シール部材とを含む。送り出し機構は、接続されたバッグのウェブを受け取るように構成される。送風機は、空気をバッグの開口部の中に吹きつけるように構成される。係合デバイスは、第1の対のグリッパと、第2の対のグリッパと、第3の対のグリッパと、第4の対のグリッパとを有する。第2の対のグリッパは、第1の対のグリッパから間隔を置かれ、第3の対および第4の対のグリッパは、互いに対して移動可能である。第1、第2、第3、および第4の対のグリッパの各々は、開放位置と閉鎖位置との両方に移動可能である。シール部材は、バッグの開口部をシールするように構成される。

本発明は、例えば、以下を提供する。

(項目1)

パッケージを作製する方法であって、前記方法は、
接続されたバッグのウェブをバッグの開口部が係合デバイスより下にある位置まで前進させることと、

前記係合デバイスを開放することと、

前記バッグの前記開口部に部分的に開放された構成になるまで送風することと、

前記係合デバイスの一部が前記バッグの内側に配置され、前記係合デバイスの一部が前記バッグの外側に配置されるように、前記接続されたバッグのウェブを逆送りすることと

、
前記係合デバイスが前記バッグに係合するように、前記係合デバイスを閉鎖することと

、
前記係合デバイスを前記バッグの前記開口部が長方形形状有することをもたらす位置まで移動させることと

を含む、方法。

(項目2)

製品を前記バッグの中に装填することをさらに含む、項目1に記載の方法。

(項目3)

前記係合デバイスを移動させることにより、前記バッグの前記開口部を閉鎖し、前記バッグを前記開口部のいたる所で緊張状態に維持することと、前記バッグの前記開口部をシ

ールすることとをさらに含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 4)

前記係合デバイスが前記バッグに係合された後、前記接続されたバッグのウェブを逆送りし、前記バッグを前記バッグ内に装填された製品とともに前記接続されたバッグのウェブから除去することをさらに含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 5)

前記係合デバイスの移動は、前記バッグの前記開口部が少なくとも 6 インチ × 6 インチの長方形形状を有することをもたらし、項目 1 に記載の方法。

(項目 6)

パッケージを作製する方法であって、前記方法は、
接続されたバッグのウェブをバッグの開口部が複数の対のグリッパより下にある位置まで前進させることと、

前記対のグリッパの各々を開放することと、

前記バッグの前記開口部に部分的に開放された構成になるまで送風することと、

前記対のグリッパの各々のうちの 1 つのグリッパが前記バッグの内側に配置されるように、前記接続されたバッグのウェブを逆送りすることと、

前記対のグリッパが前記バッグに係合するように、前記対のグリッパの各々を閉鎖することと、

前記対のグリッパのうちの少なくとも 1 つを前記バッグの前記開口部が長方形形状有することをもたらし位置まで移動させることと

を含む、方法。

(項目 7)

製品を前記バッグの中に装填することをさらに含む、項目 6 に記載の方法。

(項目 8)

前記対のグリッパのうちの少なくとも 1 つを移動させることにより、前記バッグの前記開口部を閉鎖し、前記バッグを前記開口部のいたる所で緊張状態に維持することと、前記バッグの前記開口部をシールすることとをさらに含む、項目 7 に記載の方法。

(項目 9)

前記対のグリッパが前記バッグに係合された後、前記接続されたバッグのウェブを逆送りし、前記バッグを前記バッグ内に装填された製品とともに前記接続されたバッグのウェブから除去することをさらに含む、項目 6 に記載の方法。

(項目 10)

前記少なくとも 1 つの対のグリッパの移動は、前記バッグの前記開口部が少なくとも 6 インチ × 6 インチの長方形形状を有することをもたらし、項目 6 に記載の方法。

(項目 11)

前記複数の対のグリッパは、第 1 の対のグリッパと、第 2 の対のグリッパと、第 3 の対のグリッパと、第 4 の対のグリッパとを備えている、項目 6 に記載の方法。

(項目 12)

前記第 1 の対のグリッパおよび前記第 2 の対のグリッパは、前記バッグの第 1 の層に係合する、項目 11 に記載の方法。

(項目 13)

前記第 3 の対のグリッパは、前記バッグの第 1 の側縁に係合し、前記第 4 の対のグリッパは、前記バッグの第 2 の側縁に係合する、項目 11 に記載の方法。

(項目 14)

パッケージを作製するための装置であって、前記装置は、
接続されたバッグのウェブを受け取るように構成されている送り出し機構と、
空気をバッグの開口部の中に吹きつけるように構成されている送風機と、
係合デバイスであって、前記係合デバイスは、

第 1 の対のグリッパと、

前記第 1 の対のグリッパから間隔を置かれている第 2 の対のグリッパと、

第 3 の対のグリップと、

第 4 の対のグリップであって、前記第 3 の対のグリップおよび第 4 の対のグリップは、互いに対して移動可能である、第 4 の対のグリップとを備え、前記第 1 の対のグリップ、前記第 2 の対のグリップ、前記第 3 の対のグリップ、および前記第 4 の対のグリップの各々は、開放位置と閉鎖位置との両方に移動可能である、係合デバイスと、

前記バッグの前記開口部をシールするように構成されているシール部材とを備えている、装置。

(項目 1 5)

前記第 1 の対のグリップおよび前記第 2 の対のグリップは、前記シール部材に取り付けられている、項目 1 4 に記載の装置。

(項目 1 6)

前記第 1 の対のグリップと前記第 2 の対のグリップとの間の空間は、調節可能である、項目 1 4 に記載の装置。

(項目 1 7)

前記第 1 の対のグリップおよび前記第 2 の対のグリップは、前記バッグの第 1 の層を把持するように構成されている、項目 1 4 に記載の装置。

(項目 1 8)

前記第 3 の対のグリップおよび前記第 4 の対のグリップは、スロット内を移動可能である、項目 1 4 に記載の装置。

(項目 1 9)

前記第 3 の対のグリップは、前記バッグの第 1 の側縁を把持するように構成されている、項目 1 4 に記載の装置。

(項目 2 0)

前記第 4 の対のグリップは、前記バッグの第 2 の側縁を把持するように構成されている、項目 1 9 に記載の装置。